

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

HUGO BOSS WATCHES
ご使用方法、お手入れとメンテナンス、保証とサービスについて

HUGO BOSS WATCHES

ヒューゴ・ボスはファッション市場において独自の伝統を築いています。機能および細部に細心の注意を払って製造された防水仕様のヒューゴ・ボス ウォッチ コレクションは、ヒューゴ・ボスのスタイルと、世界で最も知られているブランドのトレードマークであるロゴを反映するシンプルでエレガントなデザインを実現しています。

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目次

ご使用方法

- (1) 2針・3針モデル
- (2) 日付／曜日付モデル
- (3) デュアルタイム モデル タイプ A – 回転式リフレクターリング、GMT 24 時間針、日付付き
- (4) デュアルタイム モデル タイプ B – 24 時間針、日付付きデュアルタイム
- (5) マルチ・アイ モデル タイプ A – 曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタンなし
- (6) マルチ・アイ モデル タイプ B – 曜日／日付付き、レトログランドサブダイヤル付き、プッシュボタンなし
- (7) マルチ・アイ モデル タイプ C – 曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタン付き
- (8) アナログ クロノグラフ タイプ A – 曜日／日付／24 時間針付き
- (9) アナログ クロノグラフ タイプ B – 曜日／日付／24 時間針、レトログランドサブダイヤル付き
- (10) アナログ クロノグラフ タイプ C – 1/10 秒クロノグラフ
- (11) アナログ クロノグラフ タイプ D
- (12) オートマティック タイプ A
- (13) オートマティック タイプ B – 24 時間針付き／なし
- (14) ハイブリッドムーブメント – 自動巻システム付きアナログ クォーツ
- (15) デジタルムーブメント – 3.5-デジタル LCD ディスプレイ
- (16) 特殊機構
 - ねじ込み式リユーズ
 - メッシュ プレスレット スライディング クラスプ
 - ソーラー ムーブメント

お手入れとメンテナンス

製品の安全性

電池の安全性

保証について

サービスの利用

(1) 2 針・3 針モデル



図 A



図 C



図 B

説明

1, 2 – リューズの位置

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

リューズの位置:

1 の位置 – 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 – 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

備考: 分針を調整する際は、希望の時刻より 4, 5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。

電池切れ予告機能: 電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

(2) 日付／曜日付モデル

注意:9:00 PM から 3:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。

備考:日付合わせ中でも、時計の機能には影響がありません。時計が動いていると、9:00 PM から 4:00 AM の間に日付が少しずつ変わります。

電池切れ予告機能:電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。



図 A



図 B

説明

1, 2, 3 - リューズの位置

- H - 時針
- M - 分針
- S - 秒針
- K - 日付表示窓
- E - 曜日表示窓

リューズの位置:

1 の位置 - 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 日付合わせ: リューズを時計回りに回します。

備考:曜日／日付表示付きモデルの場合:

日付を調整するにはリューズを時計回りに、曜日を調整するにはリューズを反時計回りに回します。

3 の位置 - 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

(3) デュアルタイムモデル – タイプ A

回転式リフレクターリング、GMT 24 時間針、日付付き



1, 2 – リューズの位置

- A – デュアルタイム設定用プッシュボタン (-)
- B – デュアルタイム設定用プッシュボタン (+)
- H – 時針
- M – 分針
- S – 秒針
- F – デュアルタイム時針 (24 時間)
- J – 24 時間針
- Z – タイムゾーン リューズ
- K – 日付表示窓

リューズの位置:

- 0 の位置 – リューズがねじ締めされ、ケースに押し込まれた状態。
リューズを反時計回りに回して解放し、1 の位置にします。
リューズを時計回りに回してケースに押し込み、ねじ締めします。
- 1 の位置 – 日付およびデュアルタイムの設定: 日付の設定とデュアルタイムの修正はプッシュボタンで行います。
- 2 の位置 – 時刻およびデュアルタイムの設定: 時刻の設定とデュアルタイムの即時修正はプッシュボタンで行います。

ローカルタイムの時刻は時針 **H**、分針 **M**、秒針 **S** で表示され、デュアルタイムの時刻は左側に配置されているデュアルタイム針で表示されます。

電池交換後、時刻設定前にはデュアルタイム時針とデュアルタイム分針が “0” (12 時位置) になっていることを確認してください。デュアルタイム時針またはデュアルタイム分針のいずれか、あるいは両方が “0” 位置でない場合は、次の手順に従って再設定してください。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. プッシュボタン **A** と **B** を同時に 2 秒間以上押してから放します (デュアルタイム針が動き、元の位置に戻ります)。
3. プッシュボタン **A** または **B** を押してデュアルタイム針を “0” 位置に再設定します。
プッシュボタン **A**: デュアルタイム時針は時計回りに動きます。
プッシュボタン **B**: 24 時間針は時計回りに動きます。
デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ローカルタイムの設定:

1. リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ:

1. リューズを 1 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示針を設定します。9:00 PM から 2:00 AM の間は日付表示針の設定を行わないでください。日付表示針はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

デュアルタイムの設定 (短押しモード):

1. 1 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** を押して (1 回押すと 1 時間戻ります) デュアルタイム時針 **F** を戻すか、プッシュボタン **B** を押して (1 回押すと 1 時間進みます) デュアルタイム時針を進めます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

デュアルタイムの設定 (長押しモード):

1. 2 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** を長押ししてデュアルタイム時針 **F** を希望の時刻に合わせるか、プッシュボタン **B** を長押ししてデュアルタイム時針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

タイムゾーンリフレクターリングの設定:

- リューズ **Z** を時計回りまたは反時計回りに回してタイムゾーンを設定します。

(4) デュアルタイム モデル – タイプ B

24 時間針、日付付きデュアルタイム



図 A

説明

1, 2 – リューズの位置

- A – デュアルタイム設定用プッシュボタン (-)
- B – デュアルタイム設定用プッシュボタン (+)
- H – 時針
- M – 分針
- S – 秒針
- F – デュアルタイム時針 (12 時間)
- J – 24 時間針
- Z – デュアルタイム分針 (60 分)
- K – 日付表示窓

リューズの位置:

- 0 の位置 – リューズがねじ締めされ、ケースに押し込まれた状態。リューズを反時計回りに回して解放し、1 の位置にします。リューズを時計回りに回してケースに押し込み、ねじ締めします。
- 1 の位置 – 日付およびデュアルタイムの設定: 日付の設定とデュアルタイムの修正はプッシュボタンで行います。
- 2 の位置 – 時刻およびデュアルタイムの設定: 時刻の設定とデュアルタイムの即時修正はプッシュボタンで行います。

ローカルタイムの時刻は時針 **H**、分針 **M**、秒針 **S** で表示され、デュアルタイムの時刻は左側に配置されているデュアルタイム針で表示されます。

電池交換後、時刻設定前にはデュアルタイム時針とデュアルタイム分針が “0” (12 時位置) になっていることを確認してください。デュアルタイム時針またはデュアルタイム分針のいずれか、あるいは両方が “0” 位置でない場合は、次の手順に従って再設定してください。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. プッシュボタン **A** と **B** を同時に 2 秒間以上押してから放します (デュアルタイム針が動き、元の位置に戻ります)。
3. プッシュボタン **A** または **B** を押してデュアルタイム針を “0” 位置に再設定します。
プッシュボタン **A**: デュアルタイム時針は時計回りに動きます。
プッシュボタン **B**: 24 時間針は時計回りに動きます。
デュアルタイム針はそれぞれのプッシュボタンを押し続けると連続的に動きます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。

ローカルタイムの設定:

1. リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

備考: 24 時間針 **J** は時針に合わせて動きます。

日付合わせ:

1. リューズを 1 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示窓 **K** を設定します。
9:00 PM から 2:00 AM の間は日付の設定を行わないでください。日付表示窓はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

デュアルタイムの設定 (クイック設定):

1. 0 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** を押して (1 回押すと 1 時間戻ります) デュアルタイム時針 **F** を戻すか、プッシュボタン **B** を押して (1 回押すと 1 時間進みます) デュアルタイム時針を進めます。

デュアルタイムの設定 (高精度調整):

1. 2 の位置のリューズで操作します。
2. プッシュボタン **A** を押して (1 回押すと 1 分戻ります) デュアルタイム分針 **Z** を戻すか、プッシュボタン **B** を押して (1 回押すと 1 分進みます) デュアルタイム分針を進めます。
3. リューズを 0 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

備考: デュアルタイム分針 **Z** は 15 分ごとに 1 回転します (1/4 = 15 分)。これはこのムーブメントに特有の機能なので問題はありません。

(5) マルチ・アイ モデル - タイプ A

曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタンなし



図 A



図 C



図 B

説明

1, 2, 3 - リューズの位置

H - 時針

M - 分針

S - 秒針

J - 24 時間針

T - 日付表示針

D - 曜日表示針

リューズの位置:

1 の位置 - 通常的位置: リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 - 日付合わせ: リューズを時計回りに回します。

3 の位置 - 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ:

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針と分針を進めて曜日表示針を希望の曜日に合わせます (曜日付きモデルの場合)。曜日表示針はリューズを反時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。24 時間針 J は時針と同時に動きます。分針を調整する際は、希望の時刻より 4、5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ:

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示針を設定します。9:00 PM から 2:00 AM の間は日付表示針の設定を行わないでください。日付表示針はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

(6) マルチ・アイ モデル – タイプ B

曜日／日付付き、レトログランドサブダイヤル付き、プッシュボタンなし



図 A



図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

J – 24 時間針

T – 日付表示針

D – 曜日表示針

リューズの位置:

1 の位置 – 通常的位置: リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 – 日付合わせ: リューズを時計回りに回します。

3 の位置 – 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ:

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 3 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りに回し、時針と分針を進めて曜日表示針を希望の曜日に合わせます (曜日付きモデルの場合)。曜日表示針はリューズを反時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。24 時間針 J は時針と同時に動きます。分針を調整する際は、希望の時刻より 4, 5 分進めてから分針を戻して正確な時刻に合わせます。
4. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ:

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付表示針を設定します。9:00 PM から 2:00 AM の間は日付表示針の設定を行わないでください。日付表示針はリューズを時計回りに回しても戻りません。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい日付の設定が完了します。

(7) マルチ・アイ モデル – タイプ C

曜日／日付付き、24 時間針付き／なし、プッシュボタン付き



図 A

説明

1, 2 – リューズの位置

A – 曜日設定用プッシュボタン

B – 日付設定用プッシュボタン

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

T – 日付表示針

J – 24 時間針

D – 曜日表示針

リューズの位置:

1 の位置 – 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 – 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ:

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。この際、午前と午後 (J) を間違えないように注意してください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。

曜日合わせおよび日付合わせ:

1. プッシュボタン A を押して曜日を設定します。1 回押して放すたびに曜日表示針は 1 日進みます。
2. プッシュボタン B を押して日付を設定します。1 回押して放すたびに日付表示針は 1 日進みます。

重要: 自動日付変更が作動中の 9:00 PM から 4:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダー メカニズムを損傷するおそれがあります。

3. 月末が 31 日未満の月の場合、日付の調整を行う必要があります。

(8) アナログ クロノグラフ – タイプ A

曜日／日付／24 時間針付き



図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

- A – スタート／ストップ用プッシュボタン
- B – リセット用プッシュボタン
- H – 時針
- M – 分針
- S – 秒針
- P – クロノグラフ分カウンター
- Q – クロノグラフ秒カウンター
- J – 24 時間針
- K – 日付表示窓

リューズの位置：

- 1 の位置 – 通常の位置：リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2 の位置 – 時刻合わせ：日付機能なしの場合。
日付合わせ：日付機能付きの場合。
- 3 の位置 – 時刻合わせ：日付機能付きの場合。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。

クロノグラフは最長 30 分までの時間を計測できます。

時刻合わせ：

- 1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
- 2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
*日付機能付きモデルの場合は、午前と午後 (J) を間違えないようにしてください。
*クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
- 3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ (日付機能付きの場合)：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。

2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。

2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

リューズの 3 の位置は時刻合わせに使用します (操作は上記の通り)。

シンプルなクロノグラフ機能：

1つの連続した出来事の時間計測 (最長 60 分まで)：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン A をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

積算時間計測：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。
- 4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
- 5. 時間計測が終わったら、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測：

進行中の出来事の間時間時間の計測：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
備考：内部のメカニズムは時間計測を続けています。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
- 4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
- 5. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
- 6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

電池切れ予告機能：電池切れが近づくと、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく、2 秒間隔で進みます。そのような場合は、電池をできるだけ速やかに新しいものと交換してください。秒針が 2 秒間隔で進んでいる場合でも時計の精度は保たれています。

(9) アナログ クロノグラフ – タイプ B

曜日／日付／24 時間針、レトログランドサブダイヤル付き



図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

- A – スタート／ストップ用プッシュボタン
- B – リセット用プッシュボタン
- H – 時針
- M – 分針
- S – 秒針
- P – クロノグラフ分カウンター
- Q – クロノグラフ秒カウンター
- J – 24 時間針
- K – 日付表示窓

リューズの位置：

- 1 の位置 – 通常の位置：リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2 の位置 – 時刻合わせ：日付機能なしの場合。
日付合わせ：日付機能付きの場合。
- 3 の位置 – 時刻合わせ：日付機能付きの場合。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。

クロノグラフは最長 30 分までの時間を計測できます。

時刻合わせ：

- 1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
- 2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
*日付機能付きモデルの場合は、午前と午後 (J) を間違えないようにしてください。
*クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
- 3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ (日付機能付きの場合)：

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。

2 の位置は日付合わせに使用します。

- 1. リューズを 2 の位置に引き出します。
- 2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

リューズの 3 の位置は時刻合わせに使用します (操作は上記の通り)。

シンプルなクロノグラフ機能：

1つの連続した出来事の時間計測 (最長 60 分まで)：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン A をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

積算時間計測：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。
- 4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
- 5. 時間計測が終わったら、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測：

進行中の出来事の間時間時間の計測：

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
- 2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
備考：内部のメカニズムは時間計測を続けています。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
- 4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
- 5. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
- 6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

クロノグラフ機能が作動すると、分クロノグラフ針がスタートポイント (P) から 120 度動きます。分クロノグラフ針を "0" 位置に設定すると、分クロノグラフ針が一回転します。

(10) アナログ クロノグラフ – タイプ C

1/10 秒クロノグラフ



図 A



図 B

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

A – スタート/ストップ用プッシュボタン

B – リセット用プッシュボタン

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

P – クロノグラフ分針

Q – クロノグラフ秒針

X – 1/10 秒クロノグラフ針

K – 日付表示窓

リューズの位置:

1の位置 – 通常の位置: リューズがケースに押し込まれた状態。

2の位置 – 時刻合わせ: 日付機能なしの場合。

日付合わせ: 日付機能付きの場合。

3の位置 – 時刻合わせ: 日付機能付きの場合。

計測時間はセンターの針とは独立しているクロノグラフ針で表示されます。

クロノグラフは最長 60 分までの時間を計測できます。

このクロノグラフは 1/10 秒刻みで時間を計測します。

時刻合わせ:

1. 秒針が 12 時位置にきたら、リューズを 2 の位置に引き出します。時計が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
日付機能付きモデルの場合は、午前/午後を間違えないようにしてください。
クロノグラフ針が動いてしまうので、プッシュボタンは押さないでください。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。

日付合わせ (日付機能付きの場合):

日付表示窓付きモデルの場合、リューズは 3 段階式です。2 の位置は日付合わせに使用します。

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

リューズの 3 の位置は時刻合わせに使用します (操作は上記の通り)。

シンプルなクロノグラフ機能:

1つの連続した出来事の時間計測 (最長 60 分まで):

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A をもう一度押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

積算時間計測:

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。
4. ステップ 2 と 3 を相応の回数、繰り返します。
5. 時間計測が終わったら、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

分割時間計測:

進行中の出来事の間時間計測:

1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。

備考: 内部のメカニズムは時間計測を続けています。

3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。
クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
4. 2 と 3 のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
5. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

(11) アナログ クロノグラフ – タイプ D



図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

- A – スタート/ストップ用プッシュボタン
- B – リセット用プッシュボタン
- H – 時針
- M – 分針
- S – 秒針
- P – クロノグラフ分針
- Q – クロノグラフ秒針
- K – 日付表示窓

リューズの位置:

- 1の位置 – 通常の位置: リューズがケースに押し込まれた状態。
- 2の位置 – 日付合わせ: リューズを時計回りに回します。
- 3の位置 – 時刻合わせ: リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

時刻合わせ:

- 1. リューズを3の位置に引き出します。時計が停止します。
- 2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を正しい時刻に合わせます。
- 3. リューズを1の位置に押し込みます。

日付合わせ:

- 1. リューズを2の位置に引き出します。
 - 2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。
- 重要:** 自動日付変更が作動中の 9:00 PM から 3:00 AM の間は日付の調整を行わないでください。その間に日付の調整を行うと、カレンダーメカニズムを損傷するおそれがあります。
- 3. リューズを1の位置に押し込みます。

クロノグラフ機能:

備考: 連続して2時間作動させると、クロノグラフは自動的にストップ/リセットされ、電池の消費を節約します。

積算時間計測:

途中で何度か中断される出来事の合計時間の計測:

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
 - 2. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせ、経過時間を読み取ります。
 - 3. プッシュボタン A を押してクロノグラフを再スタートさせます。
 - 4. ステップ2と3を繰り返し、各経過時間を追加します。
- 備考:** クロノグラフをストップさせるたびに、クロノグラフ針は積算時間を表示します。
- 5. 最終の読み取り後、プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をリセットします。

分割時間計測:

進行中の出来事の中間時間の計測:

- 1. プッシュボタン A を押してクロノグラフをスタートさせます。
 - 2. プッシュボタン B を押して一時的にクロノグラフをストップさせ、中間または分割時間を読み取ります。
- 備考:** 内部のメカニズムは時間計測を続けています。
- 3. プッシュボタン B を押してクロノグラフを再スタートさせます。クロノグラフ針が瞬時にスタート時から経過した時間に追いつきます。
 - 4. 2と3のステップを繰り返し、相応の回数、中間または分割時間を計測します。
 - 5. プッシュボタン A を押してクロノグラフをストップさせます。
 - 6. プッシュボタン B を押してクロノグラフ針をゼロにリセットします。

(12) オートマティック – タイプ A



図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

K – 日付表示窓

リューズの位置：

1の位置 – 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2の位置 – 日付合わせ：リューズを回します。

3の位置 – 時刻合わせ：リューズを回します。

自動巻機能：

備考：自動巻時計は、通常位置（1の位置）でリューズを時計回りに回すことにより、手動で巻き上げを行うこともできます。リューズを時計回りに何回か回すと、時計が自然に動き始めます。

時刻合わせ：

1. リューズを3の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを1の位置に押し込みます。時計が再び動き始めます。

日付合わせ：

1. リューズを2の位置に引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して日付を変更します。
3. リューズを1の位置に押し込みます。

(13) オートマティック – タイプ B

24 時間針付き／なし

時刻合わせ：

1. リューズを 2 の位置に引き出します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して針を希望の時刻に合わせます。
3. リューズを 1 の位置に押し込みます。時計が再び動き始め、正しい時刻の設定が完了します。
(24 時間針はセンターの時針および分針と連動しています)。



図 A



図 B

説明

1, 2 – リューズの位置

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

J – 24 時間針

リューズの位置：

1 の位置 – 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2 の位置 – 時刻合わせ：リューズを時計回りまたは反時計回りに回します。

自動巻機能：

備考：自動巻時計は、通常位置（1 の位置）でリューズを時計回りに回すことにより、手動で巻き上げを行うこともできます。リューズを時計回りに何回か回すと、時計が自然に動き始めます。

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

(14) ハイブリッド ムーブメント

自動巻システム付きアナログ クォーツ



図 A

説明

1, 2, 3 – リューズの位置

H – 時針

M – 分針

S – 秒針

K – 日付表示窓

B – パワーリザーブ インジケーター

リューズの位置:

1の位置 – 通常位置。リューズがケースに押し込まれた状態。

2の位置 – 日付合わせ: リューズを時計回りに回します。

3の位置 – 時刻合わせ: リューズを回します。

時計の始動:

1. 針が正常に動くまで時計を水平に振ります。

2. 時刻と日付を設定して時計を使用します。

時刻合わせ:

1. リューズを3の位置に引き出します。

2. リューズを回して針を希望の時刻に合わせます。

3. リューズを1の位置に押し込みます。時計が再び動き始めます。

日付合わせ:

1. リューズを2の位置に引き出します。

2. リューズを時計回りに回して正しい日付を表示させます。

3. リューズを1の位置に押し戻します。

時計の充電:

効率よく充電するには、針が正常に動くまで、時計を水平に約

20 cm の円弧を描くように振ります。

時計を非常に速く振ったり、揺り動かしても充電には影響しません。

時計はリューズを回しても充電できません。

時計は着用している間に自動的に充電されるため、完全に充電する必要はありません。時計を着用していても、腕が動いていない間は充電されません。

パワーリザーブ インジケーター (プッシュボタン B):

この時計はプッシュボタン B を押すことにより、パワーリザーブを表示します。秒針はパワーリザーブ インジケーターとして機能します。秒針が現在の位置から素早く進み、パワーリザーブを表示します。パワーリザーブは4段階で表示され、残りの作動時間が大まかに把握できます。

1. プッシュボタンを押した位置から秒針が素早く進み始めます。秒針が0秒の位置にあるときにプッシュボタンを押すことをお勧めします。
2. パワーリザーブの表示後、一定時間を経過すると秒針は通常の動きに戻ります。
3. 秒針が2秒間隔で動いている場合、パワーリザーブは表示されません。2秒間隔の運針はパワーリザーブが低下していることを示しており、約24時間以内に時計が停止する可能性がありますので、時計を充電してください。

秒針の動き (瞬時)		パワーリザーブ
動きなし		時計はほとんど停止する可能性があります。時計を充電してください。秒針は2秒間隔で動きます。
5 秒		約1日以上のパワーリザーブがあります。
10 秒		約7日以上のパワーリザーブがあります。
20 秒		約1ヶ月のパワーリザーブがあります。
30 秒		約4～6ヶ月のパワーリザーブがあります。

電池についての注意事項:

充電可能なユニットの代わりに、従来の時計用の酸化銀電池を取り付けないでください。

電池が破裂したり、非常に熱くなったり、発火したりする可能性があります。

BOSS
WATCHES

HUGO
WATCHES

(15) デジタル ムーブメント

3.5-デジタル LCD ディスプレイ



図 A

説明

プッシュボタン A - モード

プッシュボタン B - 設定

時刻および日付の設定：

1. プッシュボタン B を 2 回押して時刻設定モードにし、次の通りの順番で項目を選択します。
月 → 日 → 時 → 分 → 終了
2. プッシュボタン A を押して項目の数字を調整します。
3. プッシュボタン B を押して確定し、次の項目に進みます。

「時」の調整では、「A」は午前、「P」は午後を示します。

3.5-デジタル LCD ディスプレイを備えたデジタル モデルには次の機能があります。

1. 時表示
2. 分表示
3. 秒表示
4. 月表示
5. 日表示

それぞれの機能を表示するには、プッシュボタン A を押します。プッシュボタン A を 1 回押すと日が表示され、2 回押すと秒が表示されます。プッシュボタン A をもう 1 回押すとリアルタイム (現在時刻) モードに戻ります。

12:58

時刻表示



6 9

日付表示

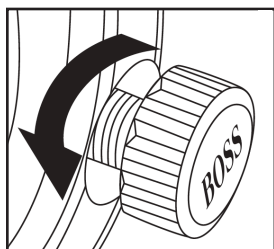


:02

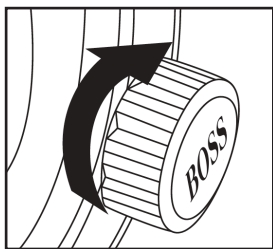
秒表示

(16) 特殊機構

ねじ込み式リューズ



A



B

いくつかのモデルはケースの防水性を高める特殊なねじ込み式リューズを備えています。時刻または日付の設定の前には、まずリューズを反時計回りに回して(約6回)リューズを緩め、ねじ込み式リューズのロックを解除する必要があります。

標準的なリューズの場合は、ロック解除の必要はありません。

A. リューズのロック解除:

リューズを反時計回り(左)に回してリューズのねじ込みを解除します。

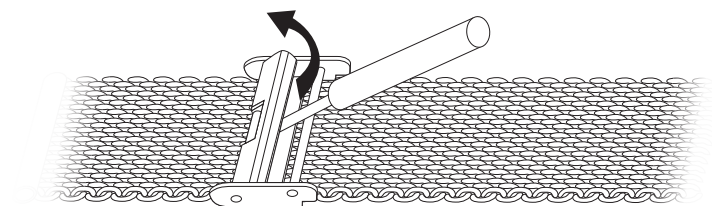
B. 時刻/日付合わせ後のリューズの再ロック:

リューズを時計回り(右)に回してリューズを押し込み、しっかり締め付けます。

(16) 特殊機構

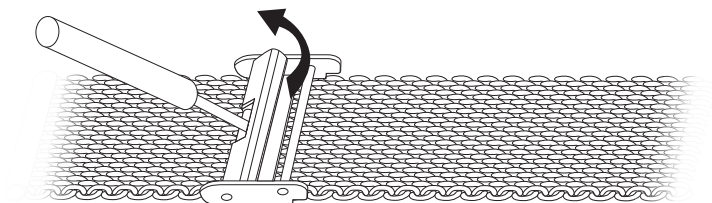
メッシュ ブレスレット スライディング クラスプ

特定のモデルのメッシュ ブレスレットには、クラスプのピンバー ハーフをちょうどよいフィット感になるまでブレスレットに沿ってスライドさせてブレスレットのサイズ調整が行えるフッキングジュエリー クラスプが付いています。

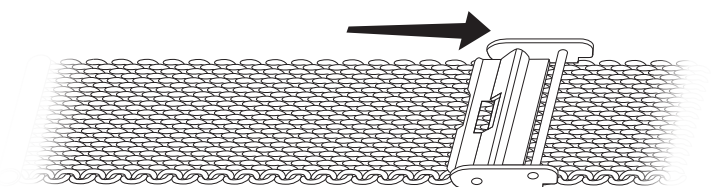


上図:所定の位置に固定されたスライディング クラスプのピンバー ハーフ付きメッシュ ブレスレット側を開きます。

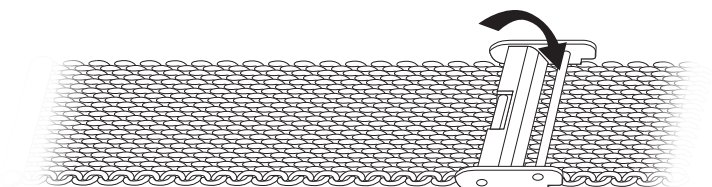
ブレスレットのサイズ調整:



1. 小型のマイナスドライバーなどでクラスプのピンバー ハーフのメタル プレートを開き、クラスプ位置固定メカニズムをリリースします。



2. クラスプのピンバー ハーフをメッシュ ブレスレットに沿って、いずれかの方向にスライドさせて希望の位置にします。



3. メタル プレートを開いてクラスプのピンバー ハーフをブレスレット上の新たな位置に固定します。

(16) 特殊機構

ソーラー ムーブメント

ソーラー駆動時計

この時計はダイヤルの下にあらゆる光を電気エネルギーに変換し、動力を補助バッテリーに蓄積するソーラー セルを備えています。

電池交換

従来のクォーツ ウォッチとは異なり、この時計は酸化銀電池を使用しないので、電池交換の必要はありません。

作動時間

フル充電から停止までの予測される作動時間は約 4 ヶ月です (その間、光を一切当てないと仮定する)。

電池切れ予告機能

二次電池に蓄えられたエネルギーが極端に少なくなると、秒針は通常の 1 秒間隔ではなく 2 秒間隔で動き始めます。その場合は、できるだけ早く時計を光に当てて充電してください。さもないと、約 2 週間で時計が作動停止する可能性があります。

過充電防止機能

二次電池が所定の電圧以上に充電されると過充電防止機能が働き、二次電池の劣化や破損を防止します。

警告

使用する時計に専用の充電式セル以外のバッテリーを使用しないでください。充電式セルを時計から取り外さないでください。充電式セルを普通ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーの回収については、お住まいの地域の指示に従ってください。時計を高温にさらさないでください。

充電時間の参考値

光量 (Lx)	光源	環境	A (およその時間)	B (およその時間)	C (およその分)
700	蛍光灯	室内	—	18	69
3,000		30W 20cm	52	4	15
10,000	日光	曇天	16	1.5	5
100,000		晴天	5.3	0.5	2

条件 A: フル充電に必要な時間

条件 B: 定常作動に必要な時間

条件 C: 1 日分の充電に必要な時間

バッテリーの表示および持続時間

プッシュボタン B を 1 秒以上押すと、2 秒後に針は自動的に戻ります。

バッテリー レベル	パワーリザーブ
高	90 日以上
中	30 ～ 90 日
低	30 日以下

お手入れとメンテナンス

ヒューゴ・ボス ウォッチは品質、機能および細部に細心の注意を払って製造されています。お買い上げの時計の特徴、正しいお手入れおよび操作について、次の情報と手順を注意深くお読みください。サービスや修理の詳細については、「サービスおよび保証」のセクションをご参照ください。

時計をご自分で開けないでください。時計の修理または調整が必要な場合は、時計を直接、認定サービスセンターにご持参いただくか、またはお送りください。世界中のサービスセンターのリストについては、www.mgiservice.com にアクセスして情報をご確認ください。

衝撃

当社のすべての時計は国際規格に適合する耐衝撃性を備えたムーブメントを使用しています。

磁気

時計を強い磁気にさらすと、時計の機能に影響を与え、時計が停止することがあります。クォーツ時計は磁気から離れると、元の精度で動き始めるはずですが、自動巻きまたは手巻きの時計は消磁が必要となる場合があります。

防水性

すべての当社のウォッチは、防水性の国際基準を満たすよう検査を受けています。ほとんどのモデルは 3 bar (3 気圧 / 30 メートル / 99 フィート) までの防水性を備えています。一部のモデルは、ダイヤルまたはケースバックに表示されている通りに、さらに高い圧力までの防水仕様になっています。これらの表示は潜水深度に対応するものではなく、国際防水基準を満たすために必要なテストでかけられた圧力を指します。

注意: 防水性についてマークされていない時計は、3 bar (3 気圧 / 30 メートル / 99 フィート) を超える圧力 / 深さにさらさないでください。そうしないと、時計が損傷する可能性があり、保証が無効になります。時計が湿っている状態または水中にある場合は、時計のリューズ、クロノグラフ モデルのプッシュボタンを含むあらゆるボタンを操作しないでください。

防水性は時計のケースにのみ適用されています。いくつかの時計のストラップは水中で着用したり、水に濡らしたりしないでください。**ストラップのお手入れ**をご参照ください。

時計を急激で極端な温度変化にさらさないでください。

時計を落下させたり、硬いものにぶつけないでください。強い衝撃を受けた場合は、防水性を再点検する必要があります。

プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布で時計を丁寧に拭いてください。

その他の注意事項:

ねじ込み式リューズを備えた時計の場合は、あらゆる操作後にリューズがケースにねじ込まれていることを確認してください。

ストラップのお手入れ

時計のストラップの寿命は、お手入れ、着用状態、さらにお住まいの地域の気候に左右されますが、正しいお手入れをすることによって、その寿命を延ばすことが可能です。

レザーストラップは乾燥した状態に保ってください。水に濡らすと、レザーストラップは劣化したり、場合によっては破損することがあります。レザーの仕上げを保護するには、香水との接触を避けてください。プールや海で使用した後は、真水で湿らせた柔らかい布でレザーストラップを丁寧に拭き、乾かしてください。

シリコンまたはラバーストラップの自然な弾力性と品質を保護するには、海水、化学物質または研磨性物質と接触した後は、真水で湿らせた柔らかい布ですすいでください。

温かい中性の石鹸水で湿らせた柔らかい布でホワイト シリコンまたはラバーストラップを丁寧に拭いた後、温水に浸した 2 枚目の清潔な布で拭くか、温かい流水で慎重にすすいでください。アセトンやエチルアルコールと接触させないでください。

備考: 時計のストラップは保証の対象とはなりません。

お手入れとメンテナンス

電池について

クォーツ アナログ ウォッチまたはクロノグラフには専用に設計された電池が付いています。電池寿命は通常およそ 18 ヶ月から 36 ヶ月です。

備考:クロノグラフ モデルのストップウォッチ機能などの特殊機能を頻繁に使用すると、電池寿命が短くなることがあります。

電池切れ予告機能:多くのモデルでは、電池の寿命が近づくと、秒針が 2 秒または 4 秒間隔で進み、電池を交換するよう知らせてくれます。

電池交換:電池交換の際には、時計を認定サービスセンターにご持参いただくか、またはお送りください。古い電池は適切に廃棄またはリサイクルされます。決してご自分で電池交換をなさらないでください。



寿命の尽きたクォーツ ウォッチの回収と廃棄*

本製品は家庭ゴミと一緒に廃棄することはできません。環境と人々の健康を保護するため、本製品は地域の認定回収センターに託し、適切にリサイクルする必要があります。

*EU 加盟国および相応の法律のある国において有効。

製品の安全性

安全性について

この製品は、安全に使用できるように設計されています。ご使用中に気になる点や安全上の問題が発生した場合は、次のいずれかの方法でお問い合わせください。

E メール: customercare-us@mgiluxury.com
電話: 1-800-810-2311

電池の安全性

⚠ WARNING

- ・ **誤飲の危険**: 本製品にはボタン型セルまたはコイン型電池が使用されています。
- ・ 飲み込んだ場合、**死亡**する、または重傷を負う可能性があります。
- ・ ボタン型セルまたはコイン型電池を飲み込むと、わずか **2 時間**で**内部化学熱傷**を引き起こす可能性があります。
- ・ 新品の電池も使用済みの電池も**子供の手の届かないところに保管してください**。
- ・ 電池を飲み込んだり、電池が体内に入った疑いがある場合は、**直ちに医師の診察を受けてください**。
- ・ 治療に関する情報については次の電話番号までお問い合わせください。1-(800) 498-8666



- ・ 使用済みの電池は取り外し、地域の規制に従って直ちにリサイクルまたは廃棄してください。子供の手の届かないところに保管してください。電池を家庭ゴミとして処分したり、焼却したりしないでください。
- ・ 使用済みの電池でも、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。
- ・ 充電式でない電池は充電しないでください。
- ・ 強制放電、充電、分解、華氏 122 度以上への加熱、焼却は行わないでください。そのようにすると、ガスの放出、漏れ、爆発により化学熱傷を負うおそれがあります。
- ・ 電池が極性(+)と(-)に従って正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・ 古い電池と新品の電池、異なるブランドや種類の電池(アルカリ電池、マンガン電池、充電式電池など)を混ぜて使用しないでください。
- ・ 長期間使用されていない機器からは電池を取り外し、地域の規制に従って直ちにリサイクルまたは廃棄してください。
- ・ 電池収納部は必ず閉じてください。電池収納部が確実に閉じない場合は、製品の使用を中止し、電池を取り外して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ お買い上げの時計は次の電池の種類のいずれかを使用します。

電池の種類	公称電圧
CR2016	3
CR2032	3
CR2025	3
CR2450	3
315	1.5
317	1.5
321	1.5
335	1.5
337	1.5
362	1.5
364	1.5

電池の種類	公称電圧
370	1.5
371	1.5
373	1.5
376	1.5
377	1.5
379	1.5
381	1.5
384	1.5
394	1.5
395	1.5
399	1.5

保証について

保証について

ヒューゴ・ボス ウォッチはデザイン的に美しいだけではなく、高精度と信頼性の高い性能をもたらす上質な素材と部品を使用して製造されています。当社では販売しているすべてのヒューゴ・ボス ウォッチに誇りを持っています。

Hugo Boss Watches 限定保証

Hugo Boss Watches はお客様に対し、通常使用下での時計の正常な機能を妨げるお買い上げの時計の素材および製造上の欠陥について、ご購入日から2年間の保証を適用します。

本保証が対象とする欠陥についての当社の責任は、修理または(Hugo Boss Watches の自由裁量のみにおいて)無償での欠陥のある時計の交換に限られています。

電池、ストラップ、プレスレット、クリスタル、ゴールドプレーティングまたはイオンプレーティングまたはPVDコーティング、すり傷、通常の磨耗、亀裂といった外観上の問題、事故、誤った使用、あらゆる変質に由来する損傷、Hugo Boss Watches 認定サービスセンター以外の第三者によるサービスまたは修理による結果は本保証の対象とはなりません。

本保証は、有効な購入証明(販売店名、ヒューゴ・ボス ウォッチのモデル番号を示す日付の付いた販売またはギフトのレシート)によって証明される Hugo Boss Watches 認定販売店での購入以外の方法で購入された時計には適用されません。

販売店が提供するその他の保証については、販売店がその責任を負います。本保証の条件を変更することはいかなる個人または企業にも許可されていません。本保証は消費者としての特定の法的権利を付与します。お客様の法的権利は国ごとまたは州ごとに異なる場合があります。しかしながら、適用法が許可する範囲で、本限定保証は口頭による、書面によるを問わず、法的、明示的、あるいは暗黙的な他のあらゆる保証(制限なく市場性に関する保証、特定目的適合性を含む)に独占的に代わるものとして適用され、他のあらゆる保証は明確に無効となります。

サービスの利用

お買い上げいただいたヒューゴ・ボス ウォッチにサービスまたは修理が必要な場合は、Hugo Boss Watches 認定販売店か、このウェブサイトで確認できる(Hugo Boss Watches サービスウェブサイトのホームページに戻り、保証およびサービス情報のリンクをクリック)Hugo Boss Watches 認定サービスセンターに直接ご依頼ください。

ウォッチの不具合および／または必要なサービスについての簡単な説明とともに、返送先の住所と電話番号を必ず明記してください。

備考: Hugo Boss Watches の 2 年間限定保証内でサービスを利用なさる場合は、日付入りの購入証明書をご提示いただく必要があります。

必要事項については前述の保証についてのセクションをご参照ください。

保証内サービス

Hugo Boss Watches サービスセンターは Hugo Boss Watches 保証の対象ではない修理、保証期間が終了した後のサービスも実施します。時計の部品が必要な場合・保証内サービスで対象となっていないサービスが必要な場合は、作業をお引き受けする前にお客様の承認とお支払いのための見積り書を送付します。このファイルのフォームをコピーしてご使用ください。

電池交換

Hugo Boss Watches サービスセンターはヒューゴ・ボス ウォッチの電池交換も有償で行います。

時計の梱包

ウォッチを郵送するときは、パッド入りの包装材(衝撃防止用)でくるみ、テープで密封された頑丈な箱に入れて、しっかりと梱包する必要があります。

注意: ウォッチが入っていたギフト ボックスはご使用にならないでください。ギフト ボックスは頑丈な発送用ではないため、輸送中にウォッチが損傷する場合があります。

時計についての保険

書留の郵便を使用し、時計に同等金額の保険をかけることをお勧めします。

追加情報

製品とともに送付される、販売店名、ヒューゴ・ボス ウォッチのモデル番号を示すオリジナルの日付の付いた購入またはギフトのレシートのないすべての修理は課金され、修理は保証条件の対象となります。

認定サービスセンターの場所を確認するには、www.mgiservice.com/hugoboss のリンクをクリックしてください。